ＪＡ全農ぐんま

育成牛センター

全国農業協同組合連合会群馬県本部　育成牛センター
住 所：群馬県前橋市柏倉町１０７９
電 話：０２７－２１２－５３８２
FAX：０２７－２１２－５３８４

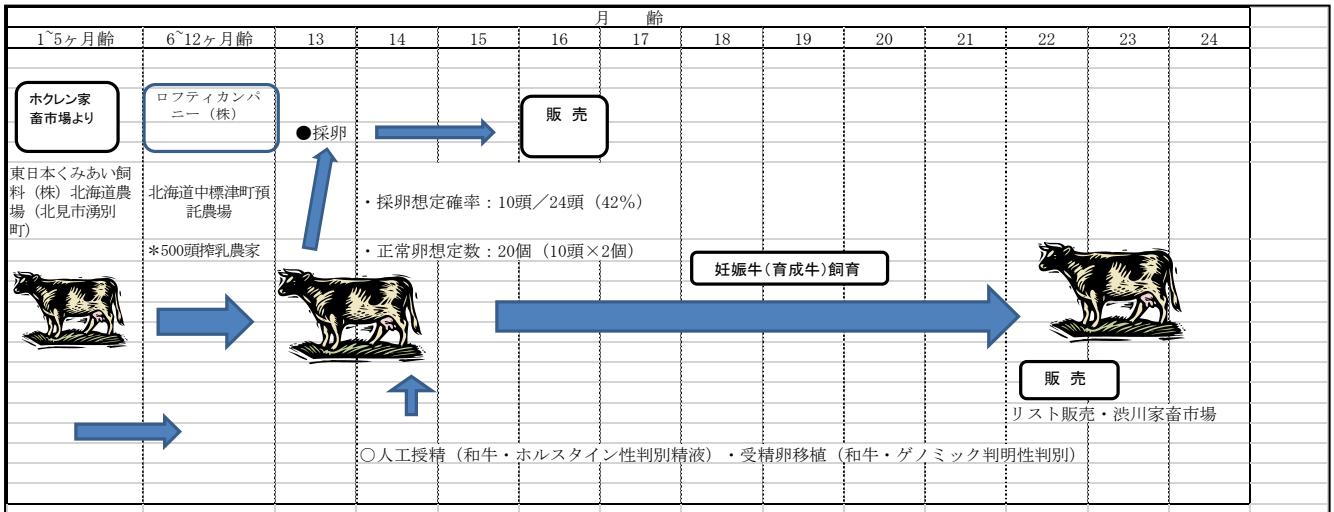
【事業の目的】

本県の畜産事業については、国内での口蹄疫の発生や振興政策の変更に端を発し、 生産者の高齢化等から生産基盤が縮小し、流通産子の減少・価格上昇が、さらに廃業 を増加させる連鎖となっています。 このため、本会を中心にＪＡ前橋市・東日本くみ あい飼料㈱と連携し、乳用初妊牛の生産販売及び採卵受精卵の販売を行うことにより、 本県の酪農・肉牛生産基盤の維持・拡大を図ること目的として、平成２９年度より事業を開始しました。

【事業の概要】

約13ヶ月齢のホルスタインの雌牛を導入し、１ヶ月程度間に性判 別精液を用いて雌受精卵を採取・販売（一部は移植用）します。採卵後から２ヶ月以内の間に受精卵移植（和牛受精卵７割ホルスタイン雌受精卵３割） 及び人工授精により妊娠牛を作成し、８ヶ月程度育成してから出荷販売を行います。 年間１４０頭ほどの乳用初妊牛の販売を計画しています。

【事業の概図】



1．導入：12~13ヶ月齢のホルスタイン雌牛を導入
2．採卵：導入後1ヶ月程度で採卵（採卵確率42%、採卵数2個／頭）し販売（一部は移植用受精卵とし活用）
3．人工授精：導入後1～2ヶ月で受精卵移植（和牛・ホルスタインゲノミック判明性判別受精卵）及び人工授精（和牛・ホルスタイン性判別精液）を併用し妊娠牛作成
4．妊娠牛：分娩約2か月前に、会員へのリスト案内及び渋川乳用牛市場で販売